

## 研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

股関節単純 X 線正面像に 45 度屈曲位正面像および杉岡式側面像を追加することによる大腿骨頭壊死圧潰の検出精度の検討

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2024 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日に昭和医科大学藤が丘病院整形外科で非外傷性大腿骨頭壊死症の外来受診（初診・再診）をされた患者さん。

### 2. 研究目的・方法

大腿骨頭壊死症では骨頭の圧潰（壊死した部位の骨が潰れる）が生じると著しく股関節の機能が損なわれます。また圧潰の有無が治療方針の決定や治療成績に影響を及ぼすことも知られているため、圧潰を同定することは非常に重要です。股関節の正面レントゲン写真だけでは十分に圧潰を見つけることができないことが知られており、様々なレントゲン撮影方法を用いる事が重要です。しかしこれまでレントゲン撮影法による圧潰の同定率を比較検討した報告は少ないです。

そこで本研究では初診時に 3 つの方法で撮影された股関節レントゲン画像と MRI 画像を用いて最適な撮影方法や組み合わせを明らかにすることを目的とします。

### 3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 03 月 31 日まで

### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、身長、体重、大腿骨頭壊死の原因、股関節単純 X 線画像、股関節 MRI 画像。

### 5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

## 6. 研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和医科大学 整形外科学講座  
氏名 西 正智

研究分担者 研究機関名 昭和医科大学 整形外科学講座  
氏名 工藤理史

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学（医学部整形外科学講座） 氏名：西 正智

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8543